

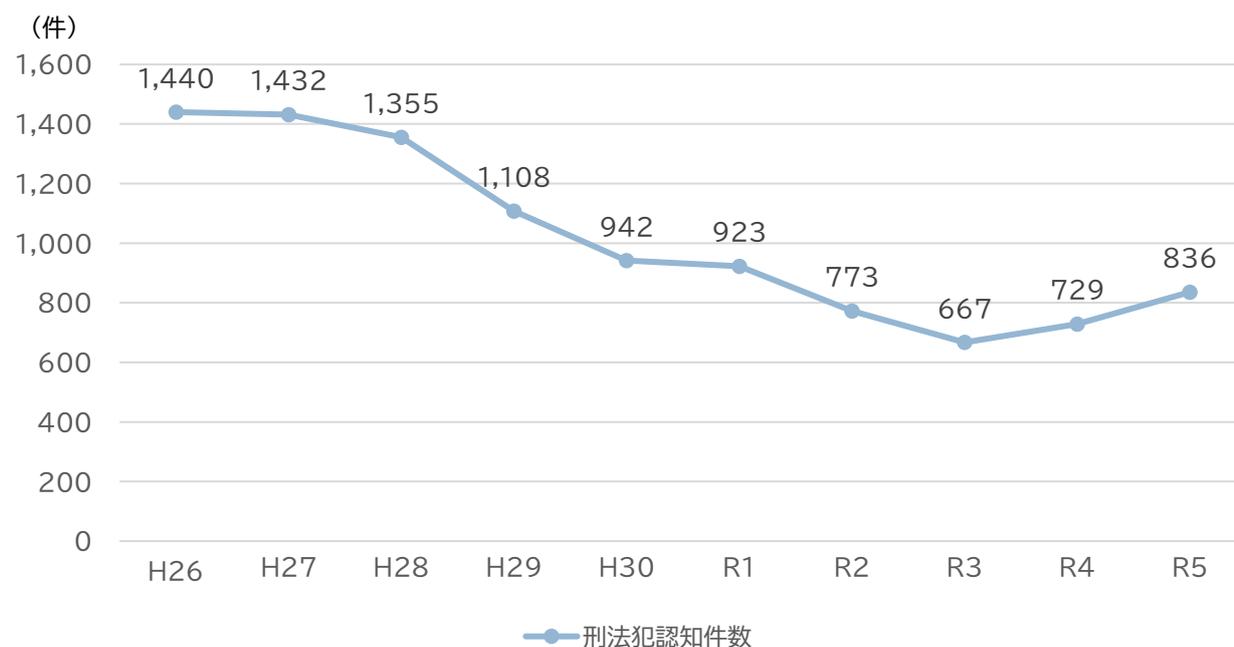
## 豊川市における犯罪等の概況

## 1. 豊川市内の刑法犯認知件数(総数)の推移

豊川市内の刑法犯認知件数は平成13年の4,492件をピークに年々減少し、令和3年は、667件とピーク時の約7分の1まで減少しました。

令和4年以降は増加に転じていますが、令和5年の836件は、10年前の平成26年と比較しても約42%減少しています。

## [刑法犯認知件数の推移]



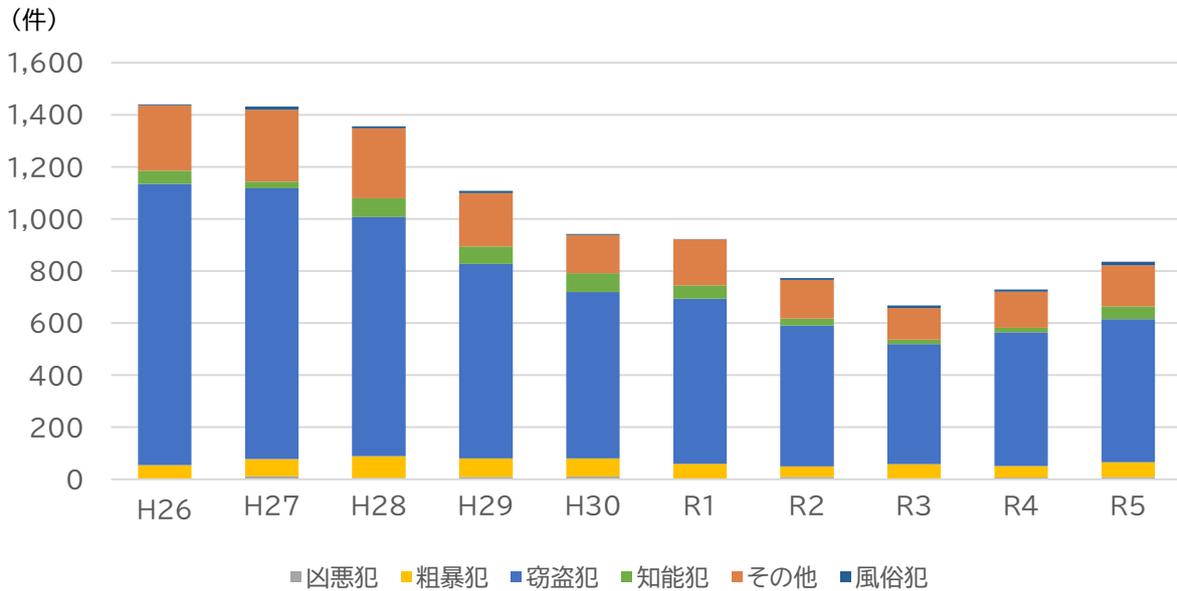
年 (単位:件)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R5 H26比
刑法犯 認知件数	1,440	1,432	1,355	1,108	942	923	773	667	729	836	41.9%▲

出典:豊川警察署統計資料

## 2. 包括罪種別認知件数の推移

令和5年と平成26年を比べると、件数が多い窃盗犯(▲49.1%)とその他(▲37.1%)が大きく減少し、刑法犯認知件数の減少要因になっています。この2つ以外の犯罪は増減していますが、平成26年と比べると凶悪犯(+166.7%)風俗犯(+250.0%)が大きく増加しています。

[包括罪種別認知件数の推移]



	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
											H26比
刑法犯認知件数	1,440	1,432	1,355	1,108	942	923	773	667	729	836	▲41.9%
凶悪犯	3	12	5	9	10	3	9	3	7	8	166.7%
粗暴犯	51	66	84	71	70	57	41	55	44	57	11.8%
窃盗犯	1,081	1,040	918	747	639	633	540	461	514	550	▲49.1%
知能犯	50	25	73	68	73	52	27	17	17	49	▲2.0%
風俗犯	4	13	7	9	4	2	7	9	9	14	250.0%
その他	251	276	268	204	146	176	149	122	138	158	▲37.1%

出典：豊川警察署統計資料

※注 包括罪種とは、刑法犯をその罪質により、以下のとおり分類したもの

①凶悪犯：殺人・強盗・放火・不同意性交等※1

②粗暴犯：暴行・傷害・脅迫・恐喝・凶器準備集合

③窃盗犯：窃盗

④知能犯：詐欺・横領(占有離脱物横領を除く。）・偽造・汚職・あっせん利得処罰法・背任

⑤風俗犯：賭博・不同意わいせつ等※2

⑥その他：前記以外のもの(占有離脱物横領、器物損壊等)

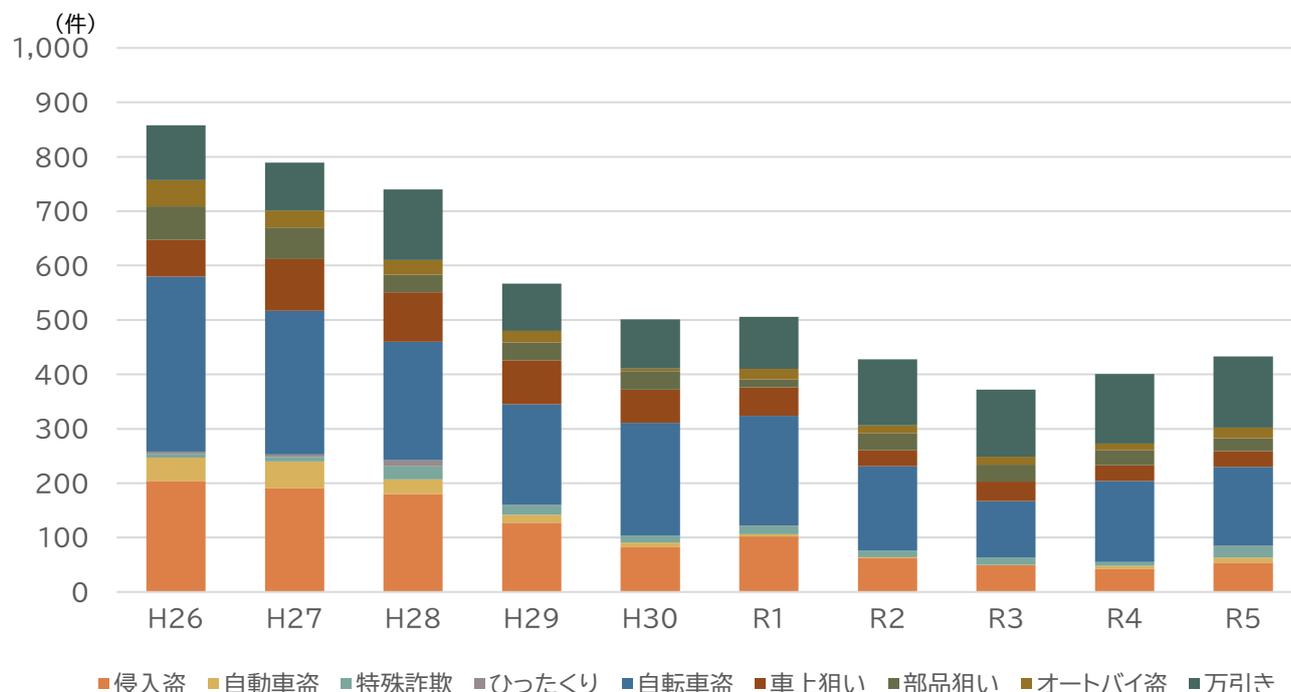
※1 令和5年7月13日以前は強制性交等 ※2 令和5年7月13日以前は強制わいせつ

### 3. 市民の身近で発生する犯罪の認知件数の推移

令和5年と平成26年と比べると、全体的に減少しています。特に侵入盗(▲73.5%)、自動車盗(▲79.1%)、ひったくり(▲75.0%)は大きく減少しています。

一方、特殊詐欺(+200.0%)及び万引き(+29.7%)については増加しています。

[市民の身近で発生する犯罪の認知件数の推移]



年 (単位:件)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
										H26比	
認知件数の合計	858	789	740	567	501	506	428	372	401	433	▲49.5%
侵入盗	204	191	180	127	83	102	62	49	43	54	▲73.5%
(うち住宅対象侵入盗)	115	123	80	69	36	45	36	16	12	16	▲86.1%
自動車盗	43	49	27	15	8	4	2	1	5	9	▲79.1%
特殊詐欺	7	8	24	17	13	15	12	13	7	21	200.0%
ひったくり	4	5	11	1	0	1	0	0	0	1	▲75.0%
自転車盗	322	264	218	185	207	202	155	104	149	145	▲55.0%
車上狙い	67	95	91	81	61	52	30	36	29	29	▲56.7%
部品狙い	62	58	32	33	34	15	31	31	28	24	▲61.3%
オートバイ盗	48	31	27	21	5	19	14	15	12	19	▲60.4%
万引き	101	88	130	87	90	96	122	123	128	131	29.7%

出典:豊川警察署統計資料

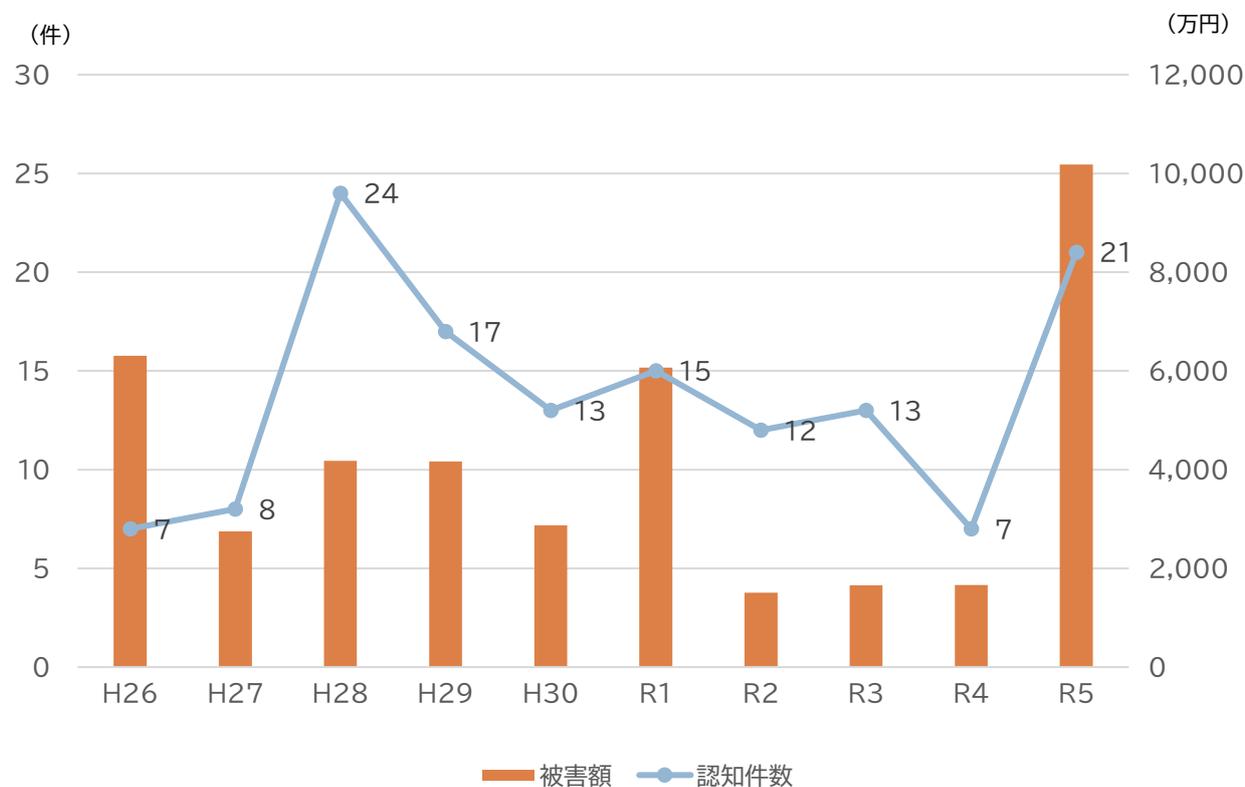
※注 市民の身近で発生する犯罪として豊川警察署が毎月公表している犯罪の件数です。

#### 4. 特殊詐欺(認知件数及び被害額)

特殊詐欺の認知件数は、平成28年の24件をピークに減少傾向にありましたが、令和5年は21件と急増し、ピーク時の平成28年に迫る件数となっています。

被害額は、令和5年が1億180万円と、過去10年間で最も被害が大きくなりました。

[特殊詐欺(認知件数及び被害額)]



年 (単位:件)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
認知件数	7	8	24	17	13	15	12	13	7	21
被害額 (万円)	6,304	2,748	4,176	4,168	2,871	6,065	1,509	1,658	1,660	10,180
オレオレ	2	4	4	5	0	3	1	3	3	6
預貯金							2	1	0	3
架空請求	3	3	7	11	7	4	3	0	0	5
融資保証	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
還付金	0	1	12	0	5	2	0	2	0	4
キャッシュ カード 詐欺盗					0	5	6	7	4	3
その他	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0

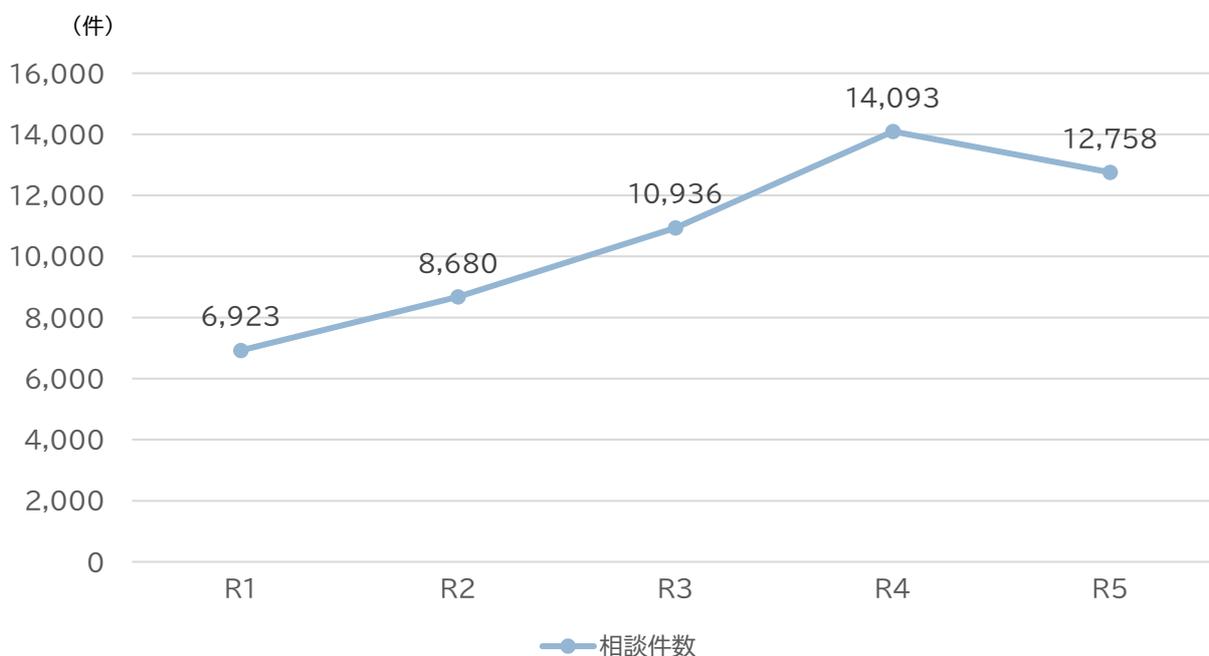
出典:豊川警察署統計資料

※注 キャッシュカード詐欺盗は平成30年、預貯金詐欺は令和2年から、統計上分類された。

## 5. サイバー犯罪相談件数(愛知県警察における相談受理件数)

愛知県内のサイバー犯罪の相談件数は増加傾向にあり、令和5年は12,758件で、令和元年の6,923件から約84%増加しています。

[サイバー犯罪相談件数]



年 (単位:件)	R1	R2	R3	R4	R5	
						R1比
相談件数	6,923	8,680	10,936	14,093	12,758	84.3%

出典:愛知県警ホームページより

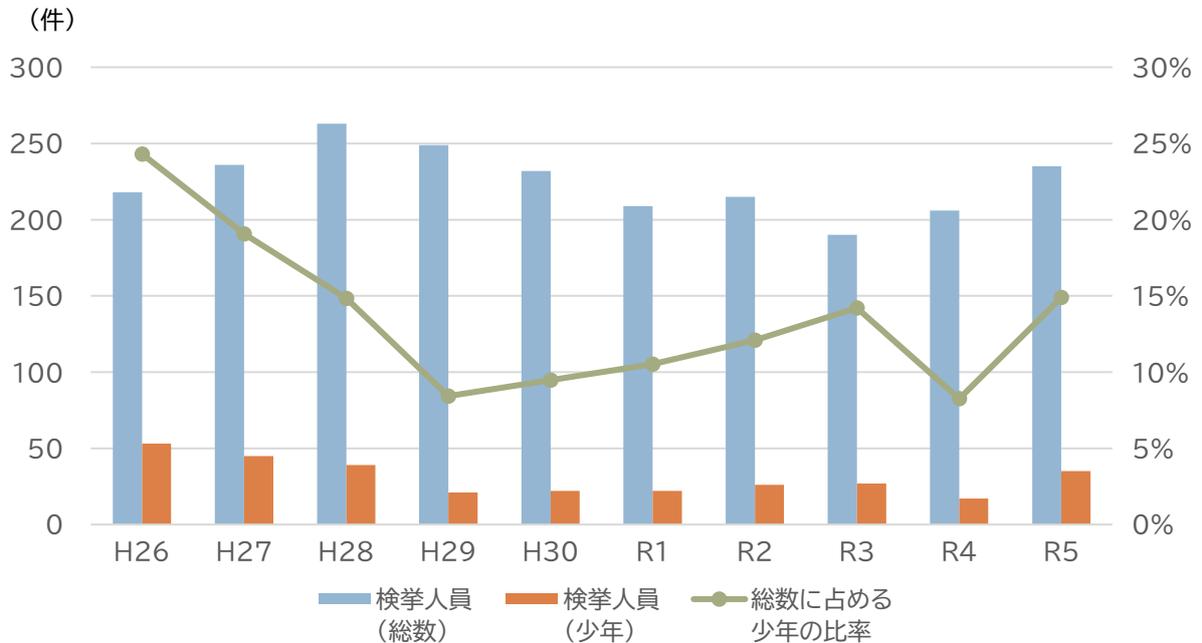
※注 サイバー犯罪とは、コンピュータやインターネットを悪用した犯罪のことで、不正アクセスやコンピュータ・ネットワークを利用した犯罪などを言います。

## 6. 刑法犯検挙人員(少年犯罪の状況)

刑法犯の検挙人員の総数は、横ばいで、平成26年からの10年間で大きな変化はありません。

少年の検挙人員、検挙人員に占める少年の比率とも増減を繰り返していますが、令和5年は、検挙人員の35名、少年の比率約15%と、平成28年以來の高い数値となっています。

[刑法犯検挙人員]



年 (単位:人)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
検挙人員 (総数)	218	236	263	249	232	209	215	190	206	235
検挙人員 (少年)	53	45	39	21	22	22	26	27	17	35
総数に占める 少年の比率	24%	19%	15%	8%	9%	11%	12%	14%	8%	15%

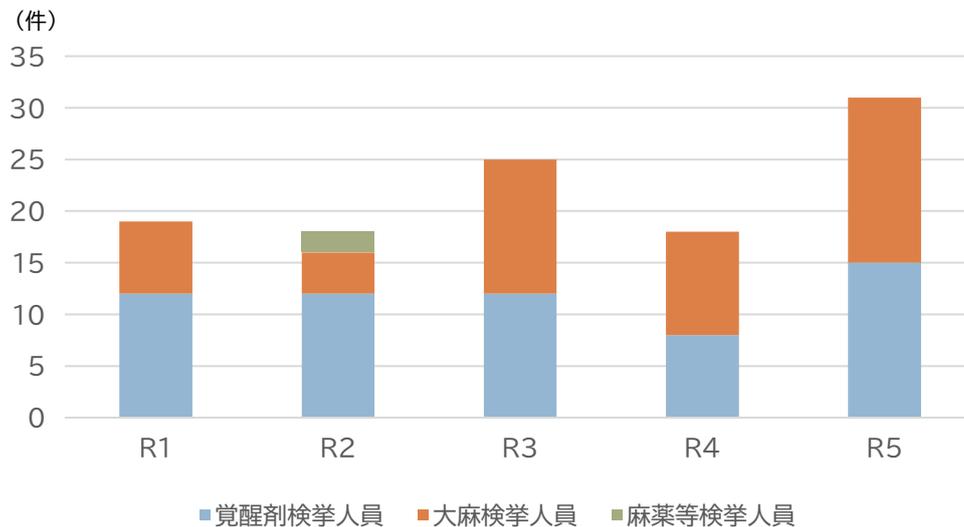
出典:豊川警察署統計資料

※注 少年は、犯行時及び処理時の年齢がともに14歳～19歳の被疑者をいう。特別法犯については、犯行時が14～19歳で処理時が20歳以上の場合を含む。

## 7. 薬物事犯検挙人員

薬物事犯の検挙人員は、増加傾向にあります。令和元年と比べると令和5年は、覚醒剤の検挙人員が25%、大麻の検挙人員は約129%それぞれ増加しました。

### [薬物事犯検挙人員]



年 (単位:人)	R1	R2	R3	R4	R5	
					人数	R1比
薬物事犯検挙人員	19	18	25	18	31	63.2%
覚醒剤検挙人員	12	12	12	8	15	25.0%
大麻検挙人員	7	4	13	10	16	128.6%
麻薬等検挙人員	0	2	0	0	0	-

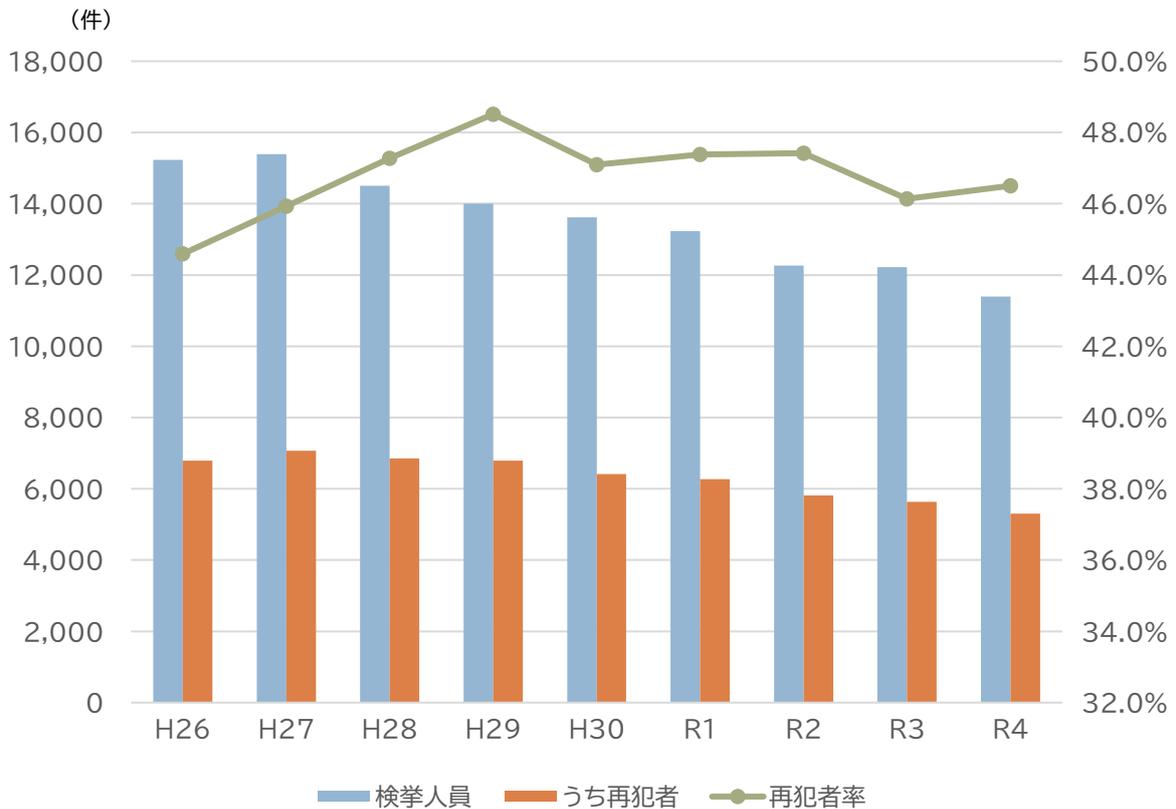
出典:豊川警察署統計資料

- ※注 ①覚醒剤は、一般的にアンフェタミン、メタンフェタミンのことを言い、麻黄(まおう)という植物から抽出された成分を原料として科学的に合成されます。  
 ②大麻とは、アサ科の1年草である大麻草とその製品をいいます。乾燥大麻「マリファナ」、大麻樹脂(「ハシシ」、液体大麻(「ハシシオイル」などがあります。  
 ③麻薬は、代表的な物にコカイン、ヘロイン、MDMA(合成麻薬)などがあります。

## 8. 愛知県の刑法犯検挙者中の再犯者数及び再犯者率

愛知県における刑法犯検挙人員は、刑法犯認知件数の減少にあわせて、減少傾向にあります。再犯者の人数も減少傾向にありますが、検挙人員に占める再犯者の割合は近年横ばいで、令和5年は、平成26年と比べやや高くなっています。

[刑法犯検挙者中の再犯者数及び再犯者率]



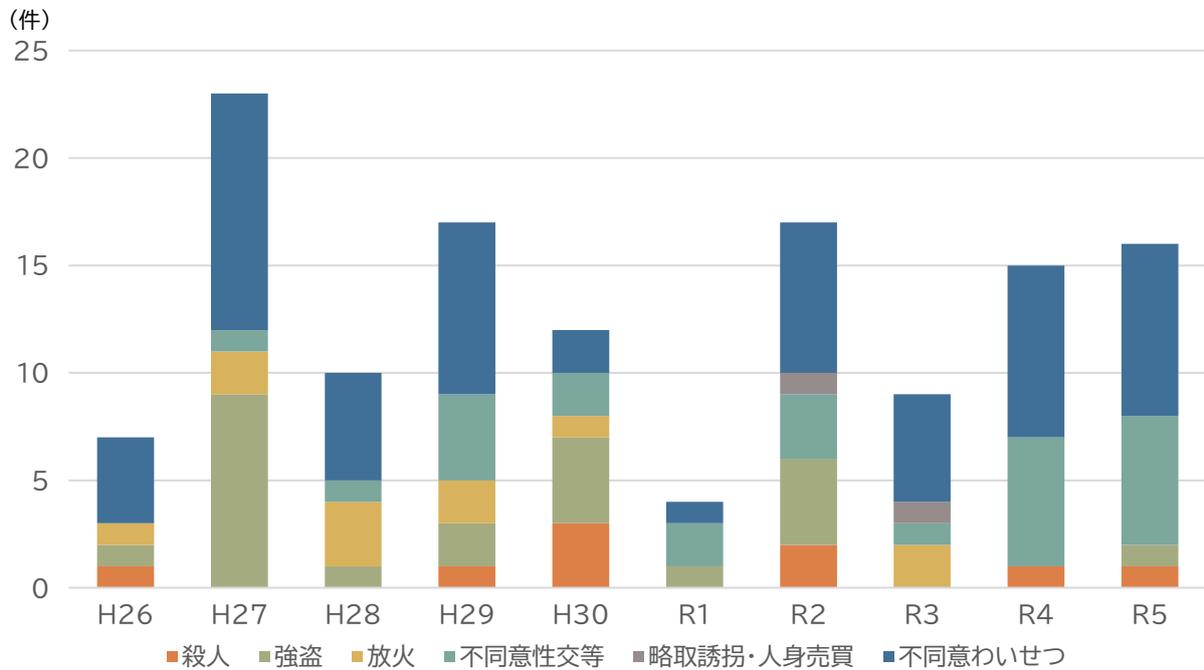
年 (単位:人)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
検挙人員	15,227	15,393	14,505	14,002	13,622	13,235	12,263	12,218	11,396
うち再犯者	6,790	7,070	6,857	6,793	6,415	6,271	5,815	5,637	5,300
再犯者率	45%	46%	47%	49%	47%	47%	47%	46%	47%

出典:あいち地域安全戦略2026統計資料

## 9. 重要犯罪の認知件数

重要犯罪の認知件数は年によってばらつきがありますが、令和4年からは2年連続で増加しています。略取・誘拐を除くほとんどの罪種で、ほぼ毎年事件が発生しています。

[重要犯罪の認知件数]



年 (単位:件)	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
<b>重要犯罪総数</b>	<b>7</b>	<b>23</b>	<b>10</b>	<b>17</b>	<b>12</b>	<b>4</b>	<b>17</b>	<b>9</b>	<b>15</b>	<b>16</b>
殺人	1	0	0	1	3	0	2	0	1	1
強盗	1	9	1	2	4	1	4	0	0	1
放火	1	2	3	2	1	0	0	2	0	0
不同意性交等	0	1	1	4	2	2	3	1	6	6
略取誘拐・ 人身売買	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
不同意 わいせつ	4	11	5	8	2	1	7	5	8	8

出典:豊川警察署統計資料

※注 重要犯罪とは、犯罪情勢を観察する場合に置いて、統計上、その指標となる犯罪として掲げる「殺人」、「強盗」、「放火」、「不同意性行為(強制性交等)」、「略取誘拐・人身売買」及び「不同意わいせつ(強制わいせつ)」の各罪種をいう。